

将来世代
応援
企業賞

大和電設工業株式会社 (宮城県)

代表者：代表取締役社長 櫻田 孝喜

所在地：宮城県仙台市青葉区大町二丁目5番1号

業種：建設業

事業内容：通信・土木・電気インフラ、システムソリューション、
ニュートリメイト（栄養給食管理システム）

設立年：1949年（昭和24年）8月1日

従業員数：346人（男性264人、女性82人）

URL：<https://www.ddk.co.jp/>



企業の取り組み状況等

背景 女性社員のみならず、全社員がいきいきとやりがいを持って働くことができるように、更なる環境整備を進めております。そしてその範囲は、大和電設工業のみならず、グループ会社はもちろん、日頃から一緒に事業を遂行している協力会社まで広げ、全員が安心して働ける職場作りを目指しており、このことがより良い企業文化を築くことにつながると信じております。また、企業理念の一つである「地域とあゆむ」を掲げ、今後も地域社会へ貢献してまいります。

■女性活躍推進関する取り組み

女性活躍推進WGを発足し、「あつまれ！DAIWA WOMEN」として女性社員を対象に組織・年代の枠を超えての意見交換を定期的実施しているほか、安全パトロールに同行し現場環境の改善について提案を行うなど、女性の意見を取り入れ、より良い職場環境づくりに取り組んでいます。

■多様な働き方

積立年休を導入し、家族の看護、産前産後休暇、育児、治療等を目的として利用できる制度を整えています。シフト勤務、フレックスタイム制度、在宅勤務、テレワーク等、柔軟な働き方を導入しています。

■法定を上回る制度

○産前休暇の延長：法定の6週間を上回る、産前8週間以内の特別有給休暇、出産特別休暇：配偶者に7日の特別休暇を付与。○短時間勤務の期間延長：小学校3年生まで短時間勤務や時間外免除等の利用が可能（法定:3歳まで）。○子の看護休暇の延長と目的緩和：法定の「小学校就学前」を「小学校3年生修了まで」に延長、さらに入園・入学式や卒園・卒業式への参加、学級閉鎖時の世話にも利用可能。○介護休業の期間延長：対象家族1人につき「最長1年間」の取得を可能。（法定:合計93日）○介護休業の有給化：介護休業（年5日、2人以上で10日）を特別有給休暇として提供。○治療のための特別休暇（不妊治療を含める）：①がん・脳卒中・心疾患・糖尿病・肝炎・難病等の反復・継続した治療を要する疾患1年間（1事業年度）に最大10日 ②不妊治療1年間（1事業年度）に最大10日 ※①②とも、1日・半日・1時間単位で取得可能

■従業員の健康への取組

健康経営の取り組みにおける各種セミナーの開催、積極的な参加。健康診断のオプション検診を5,000円分会社が補助（35歳から）①乳がん検診（40歳以上偶数年）②子宮頸がん検診（20歳以上偶数年）①②は、全額会社が負担しています。

■地域・社会貢献活動他

○地域老人福祉センターへのボランティアや災害対策備蓄食料品をフードバンクへ寄贈（東北各地）を定期的実施。
○クラブ活動（福利厚生）の一貫で、農園を借り「ニュートリ農場」として作物を栽培。収穫時には収穫祭や芋煮会を実施。また、収穫したジャガイモを「ボランティアセンター」を通じて、子ども食堂にお届け。※エクシオグループ合同
○「河北新報今できることプロジェクト」に賛同し、被災地視察による震災の伝承と防災・減災活動に参加。

■育休取得率：女性100%（過去10年間）・男性：83.3%（2024年度）※2023年度0% → 2024年度12.5%

■看護休暇利用4名・介護休暇利用2名・治療休暇利用3名 ※2024年導入初年度実績

■健康経営の取り組みにおける各種セミナーの開催 ⇒ 被保険者1人当たりの医療費 対前年比▲23.8% 削減・

★資格認定及び受賞歴

2023年2月：「女性のチカラを活かす企業」（宮城県）認定

2024年8月：「くるみん」（厚生労働省）認定

2025年2月：「女性のチカラを活かす企業」ゴールド（宮城県）認証

2025年6月：「えるぼし（3段階目）」（厚生労働省）認定

2026年1月：「令和7年度いきいき男女・ここに子育て応援企業」最優秀賞（宮城県）受賞

2026年3月：「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」（経済産業省）認定 ※2年目



取組

成果



応援しています！

各種認定の取得や、表彰を頂くことの意義は、全社員が、いきいきと働き、子育てと仕事を両立できる環境を促進するための重要なステップだと思っています。この取り組みを通じて社員のワークライフバランスを向上させ、社員一人ひとりが輝ける職場環境の実現に取り組んでまいります。次世代の皆様の活躍を期待し、応援しています。

活用しました！

クラブ活動として農園をお借りし野菜などを栽培。この活動は、グループ会社・所属の枠を超えたコミュニケーションとなっています。また、収穫した野菜を子ども食堂にお届けするなど地域貢献につながっています。

子どもたちからのメッセージです！

